資料③

■冊子に関するこれまでの意見と反映概要

	これまでの意見概要	意見の反映状況	頁
1 私たちの住む街の不思議	**1-1. 六甲山地に抱かれた街**		
	・**裏六甲**とういう表現の取扱い。 （宮田委員長、稲垣委員）	・「六甲山地の北側」の表現で統一。	1-2
	・**有馬三山**は、落葉山、灰型山、愛宕山をいう。	・利休荘からの眺めにて、有馬三山を紹介。	1-3
	・有馬川地域の特徴として、**有馬層群**の説明を追加しては。 ・地質概要図と断面図に、**時代や断層名称**を追加し分かりやすく。（宮田委員長）	・年表に有馬層群の形成を追加。 ・花こう岩と流紋岩の違いの中で、詳細や石の写真を紹介。 ・凡例に時代の「古⇔新」等を追加	1-4 1-5 1-18 1-9
	・有馬温泉を中心に、山やお寺の**方向を示した図**があり紹介したい。（藤井委員） ・有馬温泉駅は神戸電鉄の中で最も**標高の高い位置**にあると聞いた。（稲垣委員紹介：中山校長） ・有馬川流域の要素として**ゴルフ場**を入れてはどうか。（稲垣委員）	・山々に囲まれた私たちの街の中で紹介。 ・鉄道の発展のコラムとして紹介。 ・街の発展のなかで、六甲山地がレクリエーションの場として親しまれてきたことと併せて、日本ゴルフ発祥の地などを紹介。	1-10 1-12 1-13
	1-2. 神秘を語る断層や地形		
	・有馬−高槻断層帯、有野断層、射場山断層を中心とした説明が良い。また、**有馬一高槻断層帯**は現地で確認できるので紹介したい。（宮田委員長） ・**白水峡**は見やすくて良いと思う。 ・**六甲山の風化**が場所によって異なる理由などを説明しては。（水野委員） ・**六甲山の危険な側面**も扱ってほしい。（藤木委員）	・現地での確認写真にて紹介。 ・白水峡の説明の中で、断層と花こう岩の風化の関係などを紹介。	1-15 1-16 1-17
	・現地で実際に確認できる**岩や薄片写真**の紹介がわかりやすい。	・花こう岩と流紋岩の違いの中で、詳細や石の写真を紹介。	1-18
	1-3. 街にうるおいをもたらす有馬川		
	・有馬川は武庫川水系で**六甲山をぐるっとまわって**海へ流れることを紹介しては。（香西委員）	・１つの章として有馬川の流れを紹介。併せて、付け替えられたことをコラムとして紹介。	1-22
	・ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの違いなどを紹介しては。（香西委員）	・有馬川で見られる３種類のホタルとして紹介。	1-23
	・温泉周辺だけでなく、**下流域の学習要素**も紹介する必要がある。（藤木委員）	・下流域の代表的な資源である有馬川緑道等を紹介。	1-26

2 私たちの住む街の素晴らしさ

これまでの意見概要	意見の反映状況	頁
2-1. 六甲山地の豊かな自然の恵み		
・**牧野富太郎先生**や**田中芳男先生**が有馬を訪れ、植物を調べられている。また、田中先生の植物版画の掛け軸があり紹介しては。（水野委員、藤井委員）	・六甲山地では多様な植物が見られることと併せて、二人を紹介。	2-5
・**紅葉谷**が代表的なルートである。 ・裏六甲には**ブナ林**が残っていたと伝えられている。 （香西委員）	・紅葉谷のブナ林を紹介。	2-7
・**有馬の植物**として、ウチョウラン、タムシバ、イワカガミ、クロモジ、サンシュなどを示しては。また、**生き物**として、ウグイス、メジロ、シジュウカラ、ギューリキマイマイなどを示しては。（水野委員、藤井委員） ・**有馬の生き物**として、スミスネズミ、エゾゼミ、モリアオガエルなどを、また、有間神社の**ブラジイ群落**、六甲山山頂の**ブナ群落**を追加しては。（香西委員）	・各委員に精査いただいたものを紹介。	2-8 ～ 2-10
・有馬温泉は、**狭い地域に多くの泉質**が含まれている。 ・有馬の温泉は**なぜ高温なのか**、**天皇が立ち寄られた**有馬温泉なども話題になるのではないか。 （水野委員、藤井委員、宮田委員長） ・**温泉番付**というものがあり有馬温泉は西の横綱である。 （稲垣委員）	・有馬温泉に関するコラムとして紹介。 ＊2-2 章（歴史あふれる温泉の街）にて紹介。	2-11 2-12 2-18
2-2. 私たちの街の暮らしの歴史		
・癒しの森の入り口付近に**炭窯跡**がある。 ・**癒しの森の活動**について触れてほしい。（藤木委員）	・散策ルート、炭屋道、パトロール活動などを紹介	2-16 2-31 2-40
・様々な「あかし」は、**一覧と図面のページが続き**となる方が理解しやすいのでは。（稲垣委員）	・順番を変更。	2-26
・「魚屋道」の「トト」の言葉は、最近の子どもたちは馴染みがなく理解が難しいのでは。 ・**道場**や**鹿の子台**周辺には**古墳**が見られ、地域の歴史として紹介しては。（稲垣委員） ・**水無谷**は水無川上流の谷をいい、水無滝の周辺には**イワタバコ**が植生していた。（香西委員）	・代表的なあかしのコラムとして紹介。	2-31 2-32 2-33
・有馬の祭りに**献茶式**を入れてほしい。入初式と並ぶ催しとして大切にされている。（藤井委員）	・有馬川上流の祭りとして、有馬大茶会と併せて紹介。	2-35
・**木地師**の一団が住んでいたらしい。（香西委員）	・検討中	
2-3. 私たちの街の祭りや地域の活動		
・温泉周辺だけでなく、**下流域の学習要素**も紹介する必要がある。（藤木委員）	・下流域の祭りや活動などを追加。	2-37 2-39

3 私たちの住む街の安全を考える	これまでの意見概要	意見の反映状況	頁
	3-1. 時に脅威となる六甲山地		
	・**六甲山の危険な側面**も扱ってほしい。（藤木委員） ・**裏六甲**とういう表現の取扱い。（宮田委員長、稲垣委員）	・六甲山系の南側と北側の視点から、過去の災害を紹介。	3-2 3-3 3-4
	・阪神淡路大震災の際、六甲山系の北側地域では有馬温泉周辺にて大きな被害があったものの、下流での被害は少なく、**南側地域の支援が主体**であったことを紹介しては。（下流域での活動団体）	・震災時の支援活動を紹介	3-6
	・3-1-2 と 3-1-3 を入れ替えたほうが話の流れとしては良い。（稲垣委員）	・順番を変更	3-6
	・**六甲山のがけ崩れ**（危険な側面）について記載して欲しい。（藤木委員） ・阪神大水害で、「太閤橋が原因」とあるが、「**暗渠が原因**」である。（藤木委員）	・鼓が滝周辺の土砂崩れと併せて紹介。 ・阪神大水害の中で紹介。	3-8 3-9
	3-2. 私たちの暮らしを守る砂防		
	・有馬川上流には**石垣で造られた堰堤**が残っている。 ・砂防えん堤の**構造や寿命、安全性**についての説明があれば面白い。 （水野委員、藤井委員）	・砂防のしごとの紹介の中で紹介。	3-18 ～ 3-22
	・明治、大正の頃の砂防堰堤は南側ではみられないが、**白水峡の辺り**には昔の**砂防えん堤**が残っているので、資源として、前面に出してはどうか。 （神野委員）	・六甲山系の砂防事業の歴史の中で紹介。	3-22
	3-3. 地域のみんなで、山を守り、街を守る		
	・良好な森づくりや安全な自然散策のためには、地域の参加と継続が不可欠で、子どもの頃に体験したり考えたりすることが重要である。 （癒しの森パトロール参加者）	・森づくりや、地域の取り組みを紹介。	3-28 3-29 2-40
	・**自然の森を防災に生かし守っていく**ことが大切である。（香西委員）	・生物多様性の確保などとして記述	3-29